

にぎわい...

東北版

～ 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～

会員だより

【青森県青森市】

“2002年北方都市会議 IN あおもり” 開催

「豊かな北の暮らしを育む～環境・文化・生活～」をテーマに、国内外15カ国77都市から625人の参加者を迎えて、去る2月7日から10日までの4日間青森市において“2002年北方都市会議 IN あおもり”が開催されました。“北方都市会議”とは、「冬は資源であり、財産である」というスローガンのもと、世界の北方の都市が集まり、共通する都市問題について相互に学び合い、快適な都市づくりを目指す国際会議であり、1982年の札幌市で開催された第1回より数え、北欧・北米・北亜の各都市で開催され今回で第10回となりました。今回の会議では、市長会議をはじめ、オープニングフォーラムほか11のセッションから構成された冬の都市フォーラム、国際冬の見本市、併催イベントなどにのべ32万人を超える人々が北方都市会議に参加しました。

冬の都市フォーラムの幕開けを飾ったオープニングフォーラムでは、宇宙飛行士で日本科学未来館館長の毛利衛さんが「宇宙からの贈りもの」と題して基調講演を行いました。講演で毛利さんは、宇宙から撮影した地球の映像を紹介しながら、地球環境の大切さについて語られました。また、11のセッションからなる冬の都市フォーラムでは、市民をはじめ研究者、行政関係者など様々な分野の多くの人々の参加を得て、雪国に暮らす知恵や工夫を学び合い、エネルギー、交通、まちづくり、生活文化など幅広い議論が展開されました。

国際冬の見本市では、会場には国内外から最新通信機器などの情報関連や融雪・環境・福祉など様々な分野から先進的な72団体・企業、117ブースの出展があり、青森ではこれまでにない最大規模の見本市となりました。

また、今回の「2002年北方都市会議 IN あおもり」では数多くの市民ボランティアの皆さんが運営を支えてくれ、そのボランティア精神は次期開催都市であるアメリカ・アンカレッジ市へと引き継がれ、会議の成功を誓い合いました。



宇宙飛行士 毛利衛さんの基調講演



国際色豊かな“国際冬の見本市”

【秋田県秋田市】

秋田港コンテナ取扱量が2万本を突破！

昨年12月、秋田港国際定期コンテナ航路の年間取扱本数が輸出入合わせて初めて2万本（20フィートコンテナ換算）を突破、平成7年に航路を開設して以来、最高となりました。

同月28日には、秋田市土崎港のポートタワーセリオンと秋田港大浜コンテナヤードで、秋田港国際化荷主協議会主催の記念セレモニーが開かれました。

秋田港の国際定期コンテナは、平成7年11月、週1便の韓国・釜山航路からスタートし、平成9年12月には年間1万本を達成しました。平成11年には新たにロシア・ポシェット航路と新釜山航路が開設されたほか、平成12年3月からは釜山航路が週4便にまで増便され、順調に貨物量を伸ばしてきております。年間2万本突破は、東北地方では仙台塩釜港に次いで二番目となりました。



大浜埠頭コンテナヤードでの記念セレモニー

長距離フェリー秋田航路の発着時間が変更

敦賀～新潟～秋田～苦小牧間を航行している定期フェリー（新日本海フェリー）の運航時間が、4月1日から変更されることとなりました。

敦賀からの出港はこれまでより1時間半繰り下げの午前11時15分、秋田港到着は従来より30分遅い翌日の午前6時30分となります。秋田から苦小牧への出港時間も30分ずれて午前7時20分です。

一方、苦小牧から秋田への到着は従来より15分遅い午前8時15分、敦賀へ向けた出港は10分繰り下げの午前9時00分となり、敦賀への到着時間はこれまでより1時間早い翌日の午前4時30分となります。

秋田港発の曜日についてはこれまでどおり苦小牧行きは火・木・土・日曜日、敦賀行きは火・水・金・日曜日です。

この定期フェリー便は平成11年7月に就航し、現在は週4便運航されています。さらに利用しやすくなった今回のダイヤ変更により、特に関西や中京方面から訪れる観光客や貨物取引量の増加が期待されるそうです。



中島埠頭フェリーターミナルを出港するフェリーと秋田ポートタワーセリオン

【山形県温海町】

“海バス親子体験モニターツアー” 開催

昨年11月4日（日）に日本海、特に庄内の海の魅力を県内内陸部の親子に知ってもらおうと「県民の海バス親子体験モニターツアー」が開かれ、約40組が参加しました。めったにできない地引網体験やロマンチックな夕日クルーズを満喫しました。

当地温海町鼠ヶ関では、地元の漁師が仕掛けた網を親子約80名が力いっぱい引き上げ、イソダコ、クロソイなどが捕れて大歓声。「晩ご飯のご馳走にしよう」と魚を網から外しお土産に持ち帰り、大変盛況でした。

また、ツアーの一行は、加茂水族館や日本海に沈む夕日を眺めながらのクルージングも体験し、日頃、海に接することの少ない親子がどっぷり海の魅力につかった一日でした。



“第11回全国大漁旗フェスティバル” 開催

5月4日には、鼠ヶ関漁港を海上に「第11回全国大漁旗フェスティバル」が開催されます。

会場一円に全国各地の大漁旗が展示され、出店コーナーでは水揚げされたばかりの新鮮な魚介類や水産物加工品の販売、魚により親しんでもらおうと商品多数のお魚〇×クイズ等が催されます。

また、子供たちに人気の魚つかみ取りコーナーでは、カレイ、アジ、キス、シノコダイなど、色とりどりの魚たちが子供たちを待っています。ぜひ、一度足を運んでみてください。みなさんの参加をお待ちしております。



【編集】

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局
東北地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 三浦
TEL : 022-716-0005 FAX : 022-716-0018